

市民にとってのウエルネスと保健センター

池田 慈 議員

問 保健センター統合の大きな理由として、職員の移動時間を訪問相談などに充てるということだが、ウエルネスプラザで行う事業は、ヘルスメイト協議会と乳幼児健診のみと聞いた。移動時間は確実になくなるのか。

健康福祉部次長 移動時間を有効利用し、健康施策を推進すべきと考え、ウエルネスプラザに保健センターが集約されることに期待を注いでいる。健康施策は、今以上に推進したい。

問 訪問相談を充実させたのなら職員を増やしては。

答 18名の保健師を一極集中して、保健師がやるべき仕事をきちんと進めたい。市長 保健師は市にとって重要なプロの働き手になると思う。即戦力になる人を採用したい。

問 保健センターをウエルネスプラザに統合するが、残す2カ所の建物の運営コストの検討は。

健康福祉部長 公共施設マネジメント白書のコスト計算書では、藤代保健センターが1億5800万円、取手保健センターが3億4000万円。コストの多くは人件費が占める。その他の

部分は、ほとんど変わらないと思う。

教育振興計画(案)

鈴木 潔 議員

問 策定に当たっては、国や県の計画をそのまま踏襲するのではなく、取手ならではの計画にすることが求められている。どのような方が携わって策定したのか。

教育長 策定に当たって目的を3つ考えている。(1)教育に対する内容を分かりやすく伝える。(2)仕事についての現状と課題の再認識。(3)これまで取り組んできた教育施策の整理体系化。

また、策定に当たっては、社会教育委員会、図書館協議会、文化財保護審議会、公民館運営審議会、児童福祉協議会など、教育関係者、保護者、教職員の意見をいただいている。

問 パブリックコメントを行った結果は。

答 22人、131件のご意見をいただいた。これらの意見を十分に吟味して教育行政に生かしたい。

問 市の担当者や一部の方面で作成してきたこの計画をいったん白紙に戻し、教育関係者、保護者、地域住民、子どもたちを含め、よりよい計画を作り上げることを提案する。

答 十分に手順を踏んで策定を進めている。意見もたくさんいただいているので、策定会議でしっかりと作れるよう進めたい。

入札不調後の対応は？ 自転車駐車場建設

佐藤 清 議員

問 取手駅西口の自転車駐車場建設工事が入札不調となった11月29日後の事務処理について。

財政部次長 設計図書を見直し、12月26日に告示、1月30日に開札、契約した。

問 入札が不調になった原因は、設計金額のチェックが甘かったという話である。設計業者の成果品は適正だと判断するか。

都市整備部長 図書と内容がそろっていたので、完了検査は合格を出した。

問 適正なら、不調の原因の個別的なことは。



建設工事中の自転車駐車場(手前)

答 (1)東日本の復興事業による資材価格の高騰(2)入札に参加した見積価格と設計価格に開きがあったこと(3)設計図書の仕様が特殊な部材を使うとらえ方を建設会社が行ったこと。

また、現地が非常に狭く、交通量も非常に激しいため安全対策に開きがあった。

問 不調の原因はそれだけではないと思う。検証はしているのか。

公共施設整備課長 設計事務所と入札参加者の聞き取り調査を行い、原因の追求を行った。それに基づき補正をし、再度公告して入札を行った。

藤代駅北口整備

赤羽 直一 議員

問 藤代駅北口整備について、25年度の計画はどのようになっているか。

都市整備部長 昨年11月に開通した中内大塚線のオーバブリッジの車両動線の経過等を見極めながら、周辺の市道、県道など既存の道路も含めた中での整備方法を全庁的に検討したい。事業に当たっては、竜ヶ崎工事事務所、地域の皆様と一緒に整備方法を設ける検討をしたい。

問 合併両市の不均衡は是正、つながりを密接にする



藤代駅北口周辺

ために使うのが合併特例債の趣旨。藤代駅北口整備にこそ、合併特例債を使うべきではないか。

市長 部長答弁のとおり、整備方法の検討は進めたい。合併特例債は、合併を視野に入れた事業に主に充てられるべきというのはそのとおり。そういうことを踏まえて取り組んでいきたい。

問 都市計画についてはどう考えるのか。

都市整備部長 実現の難しいものは変更の必要があるが、ここは計画のまま実行できればと考えている。

交通弱者への対策を！

遠山智恵子 議員

問 地域経済の衰退、少子化が進む中、路線バスの廃止、縮小により地域住民の足の確保、とりわけ高齢者などの交通弱者に深刻な影

響を与えていることは、当市も例外ではない。双葉の方からも切実な要望が出ているが、考えは。

都市整備部長 双葉団地は、3月をもって関東鉄道バスが廃止になる。コミュニティバスは、双葉団地の東北部ルートを昨年8月に2便増やし、1日8便に変更した。また、双葉団地から6号に向かう道路整備の中で、歩道の整備も考えている。

問 市の方針を明確化させる意味で交通計画、あるいは地域公共交通総合連携計画の策定に取り組む必要がある。既に公共交通会議が設置されているが、NPOなどの参加も含めた協議会の立ち上げを提起したい。

都市計画課長 いかなる公共交通施策を講じることが地域の実情に合致するか、他市の事例等も十分に調査、研究、分析して、市の特性に合った利便性の高い公共交通政策を検討したい。また、協議会についても他市の例を参考に検討したい。

次の定例会は、
6月7日(金曜日)
開会の予定です。